



アライソコケギンポ
このパンクな魚は、体色も赤やオレンジなどとパリエーション豊富です

(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

長屋の住人

水中で暮らす生き物には実にユニークなものが多いです。今回ご紹介するのは、マイホームをこよなく愛する魚です。

名前はアライソコケギンポ。

鉛筆の半分ほどの大きさしかない小さな魚です。チャームポイントには頭におしゃれなフサフサがあることです。彼らは繁殖期以外マイホームから出歩くことはほとんどありません。食事は待ち受け型で、そばにやってくる小さなエビやカニの仲間です。狙い澄まして一気にパクリといった具合です。また、トイレットは体を半分だけ出して用が終わるとするりと戻ります。きれい好きで、排便後はヒレを使ってウンチを遠くに飛ばします。

そんな彼らのマイホームは岩礁にあいた穴の中です。岩にそんな都合のよい穴があいているのには理由があります。カモメ貝という貝の仲間が少しづつ岩を削って穴をあけているのです。岩礁にはそんな穴が無数にあって、いる場所があるのです。(海岸を散策中、穴だらけの石を見た経験がある人もいるかと思いますが)

そんな場所には魚に限らずエビやカニ、小型のタコなど多くの生き物が暮らすまさに南三陸水中長屋なのです。機会があれば2号室の住人をご紹介します。

編集後記

▶足の指に生えている毛には何の意味があるのだろう。そんな事を考えていると、うちの子どもが「そんなの気にするな！」とド〜んと一気に抜いてきたところで夢から覚めた。その後、ひとときの二度寝タイムを楽しんでから取材に出かける。私の休日は、いつもそんな感じですが、最近、読めるけど書けない字が多くなり、取材先でメモをとるときに困っています。

▶携帯と書いてケイタイ、衝撃と書いてショウゲキ。そんな読めてあたりまえの漢字が、メモをしているとふと忘れてしまい、取材ノートにはカタカナがいっぱい。算数でさえ最近はどうぶり勘定になってきているのに、国語まで忘れるようでは先が思いやられます。新年の抱負は「読み書きをきちんとすること」にしたいと思います。▶さて、ふるさとCM大賞の作品が完成しました。先月の編集後記で書いた「民俗芸能をテーマにした作品」は、却下されてしまいましたが、完成した作品も負けていません。そして、その作品のテーマは…、この編集後記にヒントが隠されています。どうぞお楽しみに！

担当 加藤

南三陸町ホームページ

パソコン用

<http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/>

携帯電話用

<http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/m/>



ホームページ
(携帯電話用)

南三陸町メール配信サービス登録ページ

<http://m.town.minamisanriku.miyagi.jp/>



メール配信サービス登録

●日曜当番医

12/6 ささはら総合診療科

☎47-1066(志津川字汐見町)

12/13 佐藤徹内科クリニック

☎47-1175(志津川字廻館前)

12/20 高橋クリニック

☎46-4315(志津川字中瀬町)

12/27 本田記念あおいクリニック

☎46-4530(志津川字十日町)

1/3 南三陸志津川クリニック

☎47-2777(志津川字塩入)

●第1・第3日曜歯科当番医

12/6 茶園歯科医院

☎46-3629(志津川字十日町)

12/20 米倉歯科医院

☎42-2630(本吉町津谷松岡)

1/3 阿部歯科医院

☎46-5678(志津川字大森町)

※診療時間受付は午前9時～午後5時。
※日曜当番医は、変更となることがありますので、あらかじめ電話で確認してください。受診の際は保険証をお持ちください。